



東林山 法雲寺

〒667-1311兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2365  
TEL：0796-98-1151・1161 FAX：0796-98-1168

# 法雲寺報

<http://www.houun.net> Eメール:kouryu@houun.net

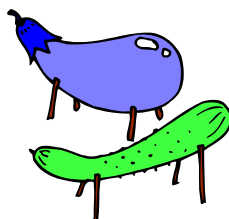
## 魂を忘れた我々日本人

あいも変わらず世間は修羅世界を目指すが如く突き進んでいるように見えます。今や親が子を・・・子が親を手に掛けるような事件が後を絶ちません。その報道を見聞きする我々も「またか!」と思う程度ですっかり慣れ切っていました。

高名な先生方は今日のような状況に至ったことを、ご自分の専門分野の知識で説明されますが、どれもサラッと表面を撫でた程度のごとで、得心の行くお話しは余り聞けません。これだけ日本全般に渡って世情が乱れきっていることを考えると、現在の日本社会に何らかの欠陥が欠落している部分があるのではないかと思います。

どうせ一度限りの人生ならば、誰しも苦しい事・辛い事は他人に押し付けて、自分は面白可笑しく過ごしたいもの。誰もが同じように、目先の損得に操られ欲求のまま走れば、人々の本音と本音がゴツゴツとぶつかり合う世の中になってしまっても当然です。その行き過ぎた例が、自分の楽しみの邪魔をするものは、例え親でも・子でも排除しようとする発想に至ってしまうのかも知れません。

この半世紀ばかりの間、家庭や学校等で、日本人が昔から受け継いできた「生死観」や「魂」について活発に語られ、そこから見える「命」や「人生」についての伝承や教育が為されてきたかは、大きな疑問です。「悪いことをしたら地獄に落ちる」とか言う極端な事ではなくて、幸いにして授かった人身の得難さが分からぬまま、「自由」や「権利」や、それに「お金儲けの方法」を只単に授けても、ブレーキの壊れた自動車と同じで、事故に遭遇する事は必至です。



古来より洋の東西を問わず、死後の世界の問題は問われ続けてきました。死を経験された方に聞けば済むことですが、経験者は全て墓石の下ですから確かめようがありません。

昔から人々は、体と魂が混然一体となっている状態を「生きている」状態、体の機能が停止し、魂が体から離れた状態を「死」と考えてきました。魂と聞くとそれだけで薄気味悪い印象を受けますが、先ほどの考えに従えば、我々生きているもの誰もが魂を体内に有している訳です。そう考えると、魂というものは、我々の意識や精神の原動力なのかも知れませんが、「気」のような存在かもしれないので、そんなに薄気味悪いものでもないと思えます。誰しも、一度ぐらいは自分が死んだ時に「自分の意識はどうなってしまうのだろうか?」と思い巡らせた事は有るかと思えます。・・・そんな人類共通の死後の意識に対する不安から、求め着いたのが「魂」という考え方かと思えます。

日本的な魂の行方ですが、一般的には六道輪廻するものと思われていました。死を迎えた魂は「あの世」に旅立ち、再び「この世」に新しい命を受けて生まれ出るのを待ちます。「この世」に再び生まれ出るまでの待ち時間が短いとか、人間として生まれ出るか、他の生き物になるかは、

故人が「この世」で積み重ねた業によって定まると考えてきました。それ故、昔の人々は、自らの行動に対しては、自分自身が責任を持たねばならないと、強く意識していたと言えます。確かに、この世限りで後は無しの方が簡単で良いのかも知れませんが、余りにも寂しい気もしますし、命に対する有り難味も有りません。

今や単なる連休程度となったお盆も、その昔には亡き祖先の魂の行く末を思い、自分自身の行く末を思う大切な期間でした。

どうか、お盆にはご先祖のお墓を手間をかけてきれいに掃除してあげてください。もの言わぬご先祖と対話して見てください。忙しい日常の中、忘れていた感覚が蘇るかも知れません。



## 比叡山参拝のご案内

天台宗開宗1200年を記念して、法雲寺では比叡山参拝を企画いたしております。

今回の参拝では比叡山を開かれた伝教大師の廟所参拝、阿弥陀堂での各家歴代回向及び、大原周辺の寺院参拝等も盛り込んだ旅程となっています。

また、遠方の檀家さんにも参加していただけるように、京都駅で合流出来るようにコースを考えていますので、是非ご参加下さい。  
詳しくは次ページの参拝案内をご覧ください。

## 日本ジャンボリー参加

8/2～8にかけて石川県珠洲市で行われる第14回日本ジャンボリーにボーイスカウト村岡1団(天台6団)からは、西村君(新町)・吉川君(本町)のほか4名が参加します。

長期間のキャンプになりますが、体調に気をつけ、良い思い出を沢山作って成長して帰ってきてください。



参加者の面々

## 特別寄進のご報告



本山様ご寄進「淇園」屏風一

## 棚経日程のご案内

| 本年度も下記の順番で回らせて頂きます |        |        |       |          |     |
|--------------------|--------|--------|-------|----------|-----|
| 期日                 | 午前     | 午後     | 期日    | 午前       | 午後  |
| 8月7日               | 大阪 和歌山 |        | 8月11日 | 野々上      | 川上  |
| 8月8日               | 板仕野宿   |        | 8月12日 | 新町中西     | 西本町 |
| 8月9日               | 用野鹿田   |        | 8月13日 | 東上 東中・本町 |     |
| 8月10日              | 大屋八鹿豊岡 | 香住川会小代 | 8月14日 | 本町・殿町    |     |

## お施餓鬼のご案内

お盆恒例のお施餓鬼のご案内です。

期日：平成18年8月15日(火)午前11時～

会場：法雲寺本堂

対象：地元初盆各家・永代供養各家及び希望者

## 新「総代」のご紹介

総代の任期満了に伴い、下記の4名の方々に総代に就任していただきました。また併せて、宗教法人・法雲寺の責任役員も兼務願います。任期中よろしく願いいたします。( )は檀徒会役職

|          |           |
|----------|-----------|
| 上田 優(会長) | 山根福平(副会長) |
| 岡田幸雄     | 井上篤美      |

## お盆供養幡

本年度も「お盆供養幡」をご用意しました。お仏壇の上に竿を渡して糸でつるすとか、テープで止めるとかして頂いて、お盆をお迎え下さい。お盆が過ぎましたら15日の夕刻か、16日の朝に、川に流すか、水をはかけるかして溶かしてください。すぐに水に溶けますので、それをもって「仏送り」(精霊流し)の変わりにして頂ければと、思います。



工夫してお飾り下さい